エピペン®注射液0.15mgおよびエピペン®注射液0.3mg使用情報

（製品と一緒にこの使用情報を患者様にお渡しください）

1．主治医から説明された徴候や症状を感じたときは、本剤を速やかに使用してください。

【参考】エピペンが処方されている患者様で、アナフィラキシーによると思われる下記症状が一つでもあれば使用してください。

消化器の症状	・繰り返し吐き続ける	・持続する強い（がまんできない）おなかの痛み	
呼吸器の症状	・のどや胸が締め付けられる ・持続する強い咳込み	・声がかすれる ・ゼーゼーする呼吸	・犬が吠えるような咳 ・息がしにくい
全身の症状	・唇や爪が青白い ・意識がもうろうとしている	・脈を触れにくい・不規則 ・ぐったりしている	・尿や便を漏らす

日本小児アレルギー学会「一般向けエピペンの適応（2013年7月）」

2．エピペンを適切に注射するために「使用方法」（裏面）を必ず確認ください。

✓エピペンは、投与部位が動かないようにしっかり押さえ、太ももの前外側にのみ注射してください。
✓使用時まで青色の安全キャップは取り外さないでください。
✓オレンジ色のニードルカバー先端から注射針が出ます。絶対に指または手等をニードルカバー先端に当てないでください。

3．エピペンを誤って注射した場合には、直ちに最寄りの医療機関を受診してください。

「重要情報」

① 本剤は、アドレナリンを充填した一回投与型の注射剤で、緊急時に自己注射する薬剤です。
② 本剤は緊急時の補助治療剤であり、医療機関での治療に代わり得るものではありません。本剤注射後は、直ちに医師の治療を受けてください。
③ 主治医の指導および注意事項を守り、緊急時に正しい方法で自己注射ができるよう、**練習用トレーナー**にて使用方法を習熟してください（**製品で練習しないこと**）。また、この使用情報を熟読してください。
④ 本剤にはピロ亜硫酸塩が含まれていますが、ピロ亜硫酸塩アレルギーの方であっても、緊急時には本剤をご使用ください。
⑤ 本剤を分解しないでください。

「保存に関する注意事項」

① 本剤の成分（アドレナリン）は光に分解し易いので、携帯用ケースに収めた状態で保存してください。
② 本剤は15℃～30℃で保存することが望ましいので、冷所または日光のあたる高温下等に放置しないでください。
③ 本剤の溶液が変色していないこと、および沈殿物がないことを定期的に確認してください。このような変化が認められた製品は使用せず、新しい製品の処方を受けてください。
④ 本剤には使用期限があります。製品の外箱および製品本体のラベルに表示されている使用期限を確認してください。
使用期限が切れる前に、未使用の製品を持って医療機関を受診し、新しい製品の処方を受けてください。（使用期限切れの製品を所持している際は、医療機関へ提出し廃棄を依頼してください。家庭ごみ／一般廃棄物では廃棄できません。）
⑤ 本剤ご使用時における**使用期限切れ**を防ぐ目的で「**重要なお知らせ通知プログラム**」を設けています。次のいずれかからお申込みください。①スマートフォンアプリ「マイエピ」（https://allergy72.jp/app/）②エピペンサイト（https://www.epipen.jp/）③本剤を処方された時に渡された登録ハガキ

「使用に関する注意事項」

① 本剤は、蜂毒、食物及び薬物等によるアレルギーを治す薬剤ではなく、これらによるアナフィラキシー反応の症状を緩和する薬剤です。
② 本剤の使用や注射時期等については主治医の指導にもとづき判断し、主治医から説明された徴候や症状を感じたときは、本剤を速やかに使用してください。
③ 蜂に刺され毒針が残っている場合、できるだけ毒針を爪等で除いてください。この時、毒針を強く押したり、皮膚に深く押し込んだりしないでください。
④ 本剤には、投与量を安定化するため2mLの薬液が入っていますが、実際に投与される量は0.3mLです。本剤注射後も大部分（1.7mL）の薬液が製品内に残っていますが、使用済の製品では再度注射できませんので、ご注意ください。
⑤ 本剤を飛行機内に持ち込む場合は、所持品検査時等におけるトラブルを避けるため、航空券の予約時等に航空会社へ事前に連絡することをお奨めします。

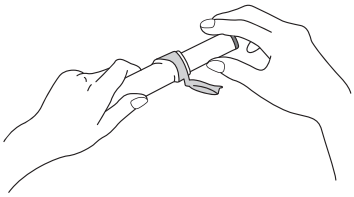
エピペンおよび練習用トレーナーの使用方法（裏面）を確認ください。

医療機器承認番号：21500BZY00341000

®登録商標

【エピペン使用方法】

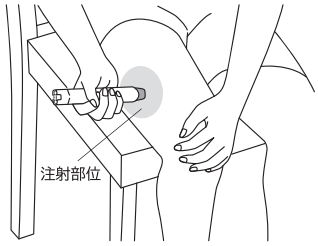
（1）携帯用ケースのふたを開けて注射器を取り出す。



※本剤は光で分解しやすいため、使用前に携帯用ケースから取り出してください。

（2）オレンジ色のニードルカバー先端を下に向けて握り（注射器の上下どちらの端にも親指をかけないで）、青色の安全キャップを外す。

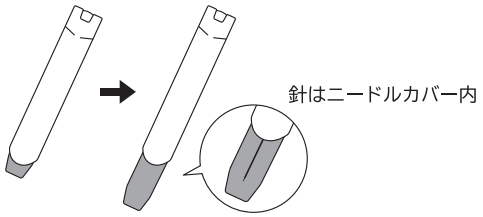
（3）太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付ける。太ももに押し付けたまま数秒間待ち、エピペンを太ももから抜き取る。（緊急時には衣服の上からでも注射可能）



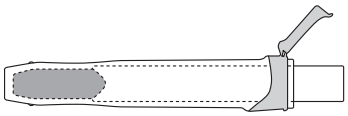
※お尻や静脈に使用しないこと。

※投与部位が動かないようにしっかり押さえること。

（4）適正に作動した場合には、オレンジ色のニードルカバーが伸びる。（針はニードルカバー内にある）



（5）使用済みの注射器はオレンジ色のニードルカバー側から携帯用ケースに戻す。（オレンジ色のニードルカバーが伸びているため、ふたは閉まらない）



（6）本剤を使用後、直ちに最寄りの医療機関を受診する。

（7）エピペン注射液を使用した旨を医師に報告し、使用済みの本注射器を提出する。

【患者本人以外が投与する場合】

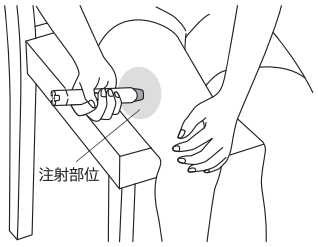
注射時に投与部位が動くと、注射部位を損傷したり、針が曲がって抜けなくなったりするおそれがあるので、投与部位をしっかり押さえるなど注意すること。

【練習用トレーナーによる使用方法の練習】

・緊急時に正しい方法で自己注射できるよう、練習用トレーナーを使って継続的に練習してください（製品では練習しないこと）。
・エピペンWebサイト（www.epipen.jp）にて本剤を処方された患者様とご家族、また介助者（教職員・保育士等の皆様）向けに、本剤の使い方（動画）やガイドライン等の情報を掲載しています。

（1）オレンジ色のニードルカバー先端を下に向けて握り（注射器の上下どちらの端にも親指をかけないで）、青色の安全キャップを外す。

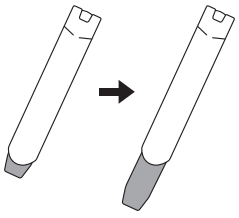
（2）太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付ける。太ももに押し付けたまま数秒間待ち、エピペンを太ももから抜き取る。（緊急時には衣服の上からでも注射可能）



※お尻や静脈に使用しないこと。

※投与部位が動かないようにしっかり押さえること。

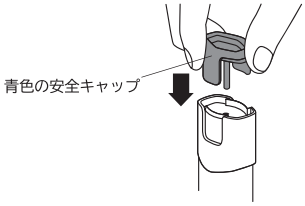
（3）適正に作動した場合には、オレンジ色のニードルカバーが伸びる。（練習用トレーナーに針はついていない）



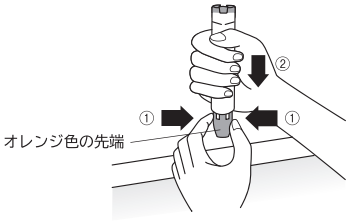
・青色の安全キャップまたはオレンジ色の先端に親指をかけないでください。
・使う前に必ず青色の安全キャップを外してください。
・重大なアレルギー反応が起こる前に、エピペンの使用方法を知っておくことが重要です。定期的に練習しましょう。

・練習用トレーナーのリセット方法

（1）青色の安全キャップを元に戻す。



（2）硬い面の上に置き、オレンジ色の先端の両側を押し込み収納する。



・エピペン（製品）はリセットできませんので、使用済みの注射器は携帯用ケースに戻してください。

【エピペンに関するお問い合わせ先】
ヴィアトリス製薬株式会社　エピペンカスタマーサポートセンター
TEL 0120-303-347
エピペンWebサイト：www.epipen.jp

EPI57M003
2022年11月改訂　V001